

2019 年度

中国留学報告書

留学先：北京師範大学

実習期間：8月26日（月）～12月28日（土）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21018067
高橋祐貴

目次

1	留学先及び留学期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	3
	4 - 1 留学のスケジュール	3
	4 - 2 留学の詳細	4
5	所感	4
6	おわりに	5
	謝辞	5

付録

留学日誌	5から6
------	------

1 留学先及び実習期間

研修先：北京師範大学 漢語文化学院

研修期間：令和1年8月26日（木）～令和1年12月28日（土）

※帰国は12月28日（土）

2 留学先概要

(1)大学について

北京師範大学は中華人民共和国の北京市海淀区に位置する大学である。北京市のほぼ中心部に位置しているため観光や公共施設などを利用しやすく、生活しやすい環境である。大学の敷地はとても広く、多くの施設が備わっている。北京大学、清華大学、中国人民大学と並んで中国の四大大学とされている。北京師範大学の創設は1902年であり、100年以上の歴史を持つ大学である。北京師範大学は大学の名前に師範ともあるように先生の育成に特に力を入れている大学である。しかし、教育学部だけでなく法学部、心理学などの多くの学部が存在している。また、世界の各国から留学生を受け入れている。

(2)大学で行われている教育について

今回留学した漢語文化学院は中国語を学ぶのを目的とした留学生が集まったクラスであった。授業開始前に試験があり、そのレベルによってクラスが配属されるので自分にあったクラスで質の高い教育を受けることができる。一つのクラスに20人弱と少人数のクラスなので先生の指導がいきわたっている。少人数で授業が行われるので発言する機会も多く与えられる。また、漢語文化学院では11月上旬ごろに文化考察があり、北京から遠く離れた地域に考察に行くことや北京以外の料理を食べることができ、その地域の文化に触れることができる。

3 留学目的

留学の目的は三つあり、一つ目は自分の中国語を上達させること、二つ目は中国の文化を学ぶこと、三つ目は異文化交流をすることである。HSKや英検にも対応できるレベルにまで中国語を上達させることも目標とした。また、日常生活でも中国語を使う環境に身を置くことはリスニング力、話す力などの上達につながると考えた。

4 留学内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4-1 留学のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日	午前	午後
8月	26日	日本出国	中国到着
	27日	銀行口座開設	Wi-Fi 料金支払い

	28日		携帯電話購入
	29日	クラス分け試験	
	30日	入学式	
9月	1日	クラス分け発表	教科書購入
	2日	授業開始	
	13から15日	中秋節	
	14日	日中交流会	
10月	1から7日	国慶節(授業はなし)	
	31日	中間考査	
11月	1日	中間考査	
	3から8日	黄山文化考察	
12月	23から24日	期末考査	
	27日		卒業式
	28日	帰国	

4 - 2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i) クラス分け試験

自分に合った適切なクラスに分かれるために行われた試験

ii) 日中交流会

日本語学科の中国人学生と自己紹介や二つのグループに分かれて出し物を披露しあった。日本語と中国語で中国人の学生と会話し交流を行った。

iii) 黄山文化考察

バスで北京市内の駅に向かいそこからは寝台列車で移動をした。文化考察では班に分けられて行動し、班には多くの国の学生がいるため国際交流をできた。黄山の文化、食事、歴史を学ぶことができた。

5 当初目的・目標への達成度

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i) 中国語の上達

授業が始まってすぐは中国語で会話をすることは難しかったが、留學生活の後半では先

生が話している内容をしっかり聞き取ることができるようになった。また、質問に対しての受け答えもできるようになった。留学中には HSK 四級を取ることもでき、中国語はかなり上達できたと実感している。

ii) 異文化理解

日中交流会以外でも海外の友人を作ることができ、一緒に観光をしてお互いの国を紹介し合うなど異文化に触れることができ良い体験となった。実際に海外の人と交流することで学べることも多くあると感じた、自分と違う文化を持つ人とお互いを理解し合うことはとても重要なことである。

6 反省・課題

この留学で中国語はとても上達したと実感しているが今後ももっと中国語を話せるように日々中国語の学習を続けたい。また、もっと自分から積極的に行動するのも大事だと感じた。日々中国語を使い異文化に触れている四か月間はとても有意義なものであった。この経験を忘れることなくこれからも学習を継続したい。

謝辞

今回の留学は先生方をはじめとし学務課の方々、中国でお世話をいただいた羅さん、その他大勢の関係者の皆様といった多くの方々の手厚いサポートのおかげで実現できました、感謝申し上げます。また大学からの奨学金によりこの留学は実現できました、この多くの方々のおかげで貴重な体験をすることができました。心より感謝申し上げます。

付録：留学日誌

11月3日 から8日
黄山文化考察
内容
・一日目 寝台列車で過ごす
・二日目 宣紙作り体験
・三日目 お菓子博物館見学
・四日目 黄山登山
・五日目 墨の制作の見学

・六日目 古城の見学

文化考察の所感

博物館を見学することを通し黄山の文化を感じ取ることができた。北京よりだいぶ田舎の中国の景色を味わうことができ非常に貴重な経験となった。

12月23日から24日
期末考査
一日目 リーディング、スピーキング
二日目 リスニング

期末テストの所感

中間テストと同じ形式で行われる。スピーキングは口頭試験と筆記試験の二つ試験があり、口頭試験の方が配点は高い。

授業の時間割

	月	火	水	木	金
1限		リスニング	スピーキング		
2限	リスニング	リーディング	リーディング		リスニング
3限	スピーキング			スピーキング	
4限	補講	中華才芸		リーディング	



オリンピック公園



天安門広場



万里の長城